

# 第3章

## 将来像と目標

観光を取り巻く環境や本市における観光の課題を踏まえ、本市がどのような観光のあり方を目指すのかを設定します。また、目指すべき姿になったのかを測る目安として数値目標を設定します。

### 1. 豊見城観光の将来像

本市は、那覇都市圏と南部広域圏とをつなぐ交通の要衝であるとともに、那覇空港との近接性や沖縄自動車道の起点・終点という立地特性から、西日本最大のレンタカーステーションが立地し、多くの観光客が旅のはじまりと終わりに立ち寄る“あじまゝ”（交差点）となっています。

交差点には、新しいものを生み出すエネルギーがあり、多くの人が行き交うことで、“まち”は元気になります。また、地域の歴史・文化に根付いた日常は訪れた人の非日常といわれるように、日常と非日常が交差するとき新たな気づきが生まれ、それを磨き上げることによって自らが住む地域の宝となり“まち”の誇りとなります。

様々なものが集まり交わる“あじまゝ”で、まちの元気と市民の誇りが響きあうとき、新しい観光のスタイルが生まれ、訪れた人が思わず笑顔になるような居心地の良さに、沖縄に来てよかった、豊見城にまた来たいと思わせるような観光まちづくりを目指し将来像を以下のように掲げます。



※「あじまゝ」とは？

交差したところ、交差点

※「響（とよ）む」とは？

鳴り響くの意であり、転じて名高いという意味の古語です。14世紀～15世紀の初めに南山王のいとこ汪応祖（わんおうそ）が漫湖を見下ろす丘陵に城を築き、「とよみ城（ぐすく）」と美称し、それが歴史の中で変化し、市名「豊見城（とみぐすく）」の由来となったとされています。また、汪応祖は日本で初めて龍船（ハーリー）をつくり、漫湖に浮かべたという説もあります。「響（とよ）む」には、歴史に育まれた豊見城のアイデンティティと地方主権時代のまちを切り拓く気概、そして郷土への愛着が込められています。

## 2. 将来像を実現するための3つの目標

将来像を実現するために、「観光地としての市民意識の醸成」「地域資源の活用」「さりげないおもてなしの提供」を視点に次の3つを目標として定めます。

市民一人ひとりが豊見城を知り  
広めたいくなる

『わったー自慢のとみぐすく』

市民が豊見城を深く知り、愛し、魅力を意識することで、住んで良かったと思えるようなまちづくりを目指します。

都市型リゾートと豊かな地域資源  
の活用と創造による

『とみぐすくスタイルづくり』

都市近郊において、食・楽・学・交・健など沖縄観光がひと通り体験できる、とみぐすく独自のスタイルを創出し、体験するたびに感動を味わい、来てよかったと感じるまちづくりを目指します。

こちよさに  
思わず笑顔になる

『さりげないおもてなしの雰囲気づくり』

自然体の中に、こちよさを感じ、思わず笑顔になり、とみぐすくを好きになり、また来たいくなるまちづくりを目指します。

### 3. 目標水準

本計画の施策による観光振興への取り組みにより、本市が目指す観光地としてのまちに成長しているかを測る目安として、以下のとおり数値目標を定め、指標とします。

#### (1) 観光客数の増加

誰もが訪れたいくなる観光地としてのまちになっているかを判断する指標として、本市の主な観光施設を訪れる観光客数を設定し、その数が増加することを目標とします。

指標	現在値 (平成23年度)	目標 (平成34年度)	数値把握方法等
観光客数	230万人	<b>350万人</b>	現在、利用者数をカウントしている以下の施設における年間利用者数の合計とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 沖縄アウトレットモールあしびなー</li> <li>● 道の駅「豊崎」(情報ステーション)</li> <li>● JAおきなわ食菜館 菜々色畑</li> <li>● 旧海軍司令部壕</li> <li>● 漫湖水鳥・湿地センター 等</li> </ul>

#### (2) イベントや体験プログラム参加者数の増加

魅力あるイベント等が構築できているかを判断する指標として、市内で実施されるイベントや体験プログラムの参加者数を設定し、その数が増加することを目標とします。

指標	現在値 (平成23年度)	目標 (平成34年度)	数値把握方法等
イベントや 体験プログラム 参加者数	82,280人	<b>13万人</b>	市や市観光協会が関わるイベントや体験プログラムの参加者数の合計とします。

#### (3) ホームページ等へのアクセス数の増加

どのくらいの観光客が本市に興味を持っているかを判断する指標として、ホームページ等へのアクセス数を設定し、その数が増加することを目標とします。

指標	現在値 (平成24年度)	目標 (平成34年度)	数値把握方法等
ホームページ等への アクセス数	275,400件	<b>43万件</b>	市ホームページや市観光協会ホームページ等へのアクセス数とします。

## 4. 観光振興計画の体系

豊見城市  
観光の将来像

将来像を実現するための  
3つの目標

旅のはじまりと終わりの “あじまあ”  
響こよむまち とみぐすく

市民一人ひとりが  
豊見城を  
知り広めたくなる  
『わた一自慢の  
とみぐすく』

都市型リゾートと  
豊かな地域資源の  
活用と創造による  
『とみぐすく  
スタイルづくり』

こちよさに  
思わず笑顔になる  
『さりげない  
おもてなしの  
雰囲気づくり』

### 施策と具体的な取り組み

#### 施策①: 市民意識の向上

- 取組① 豊見城大学の充実
- 取組② 歴史文化講座等の充実

#### 施策②: 人材や組織の育成

- 取組① 観光協会の強化
- 取組② 観光ガイド等の育成
- 取組③ まちづくり団体等の育成と連携

#### 施策③: 観光PRの強化

- 取組① 観光宣伝の充実
- 取組② 情報提供の充実
- 取組③ 観光大使の任命

#### 施策④: 多彩な観光プログラムの提供

- 取組① ウチナーツーリズムの推進
- 取組② 新たなツーリズムの育成
- 取組③ イベントの充実

#### 施策⑤: 魅力あるモノづくり

- 取組① 地域資源の発掘と再生
- 取組② 地域固有の「食」の提供
- 取組③ 農商工連携による新たな商品開発
- 取組④ まち歩きストーリーの作成

#### 施策⑥: 観光拠点の整備充実

- 取組① エアウェイリゾートの推進
- 取組② 新たな観光拠点の形成

#### 施策⑦: 南部広域市町との連携

- 取組① 体験活動の受入
- 取組② 沖縄まちまーい協議会との連携
- 取組③ 南部広域による観光情報の提供

#### 施策⑧: 環境にも配慮した交通インフラの充実

- 取組① 公共交通の充実
- 取組② エコドライブの推進
- 取組③ レンタサイクルの導入
- 取組④ 駐車場の確保

#### 施策⑨: 観光地としての雰囲気づくり

- 取組① 風土に根付いた景観づくり
- 取組② 環境美化活動の推進
- 取組③ 観光案内サイン等の充実

#### 施策⑩: 安全・安心の提供

- 取組① 防災情報等の提供
- 取組② 観光施設の安全確保